

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-516569 (P2001-516569A)

【公表日】平成 13 年 10 月 2 日 (2001.10.2)

【出願番号】特願 2000-511779 (P2000-511779)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 K 35/26 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/395 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

**C 0 7 K 14/47 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 35/26

A 6 1 K 39/00 D

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/47

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 13 日 (2005.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 免疫原的に有効な量の少なくとも 1 種類のママグロビン抗原を含むママグロビン特異的ワクチン。

【請求項 2】 前記ママグロビン抗原がキャリア細胞に負荷された請求項 1 記載のワクチン。

【請求項 3】 更に薬剤学的に許容なアジュバントを含む請求項 1 記載のワクチン。

【請求項 4】 ママグロビン B 細胞抗原とママグロビン T<sub>C</sub> 細胞抗原との混合物を含む請求項 1 記載のワクチン。

【請求項 5】 発現のためにママグロビン B 細胞抗原及び / 又はママグロビン T<sub>C</sub> 細胞抗原をコードするヌクレオチド配列を有する組換えベクターを含むママグロビン特異的ワクチン。

【請求項 6】 配列番号 (SEQ ID NO) : 2 の少なくとも 6 つの連続アミノ酸を含む少なくとも一つのママグロビン抗原を含み、当該ママグロビン抗原は、糖鎖形成され、配列番号 (SEQ ID NO) : 2 のアミノ酸 20 - 93 を含む天然に存在し、分泌されたママグロビンポリペプチドに対して特異的である B 細胞及び / 又は T<sub>C</sub> 細胞により認識される、分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 7】 前記ママグロビン抗原が配列番号 (SEQ ID NO) : 2 の少なくとも 1 2 の連続するアミノ酸を含む請求項 6 記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 8】 前記ママグロビン抗原が配列番号 (SEQ ID NO) : 2 の少なくとも 25 の連続するアミノ酸を含む請求項 7 記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 9】 前記ママグロビン抗原が糖鎖形成され、配列番号 (SEQ ID NO) : 2 のアミノ酸 20 - 93 からなる請求項 8 記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 10】 前記ママグロビン抗原が糖鎖形成され、配列番号 (SEQ ID NO) : 2 からなる請求項 8 記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 11】 前記ママグロビン抗原が乳癌患者からの B 細胞のインビトロ活性化及び増殖を誘発するママグロビン B 細胞抗原である請求項 6 記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 12】 前記ママグロビン B 細胞抗原が異種タンパク質からの T<sub>H</sub> 細胞エピートープを含む請求項 11 記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 13】 前記ママグロビン抗原が乳癌患者からの T<sub>C</sub> 細胞のインビトロ活性化及び増殖を誘発するママグロビン T<sub>C</sub> 細胞抗原である請求項 6 記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 14】 前記ママグロビン T<sub>C</sub> 細胞抗原が配列番号 (SEQ ID NO) : 2 の 8 若しくは 9 の連続するアミノ酸を含む請求項 13 記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 15】 ママグロビン B 細胞抗原とママグロビン T<sub>C</sub> 細胞抗原とを含む請求項 6 記載の分離、精製されたポリペプチド。